

## 木造薬師如来坐像



**王福寺** 国指定重要文化財。平安時代の作で像高131.2cmの木造一木造り。脇侍日光・月光両菩薩像、十二神将像とともに奉安されています。

病気平癒・交通安全・開運厄除・諸願成就の守り本尊として名高く、相模薬師如来第七番靈場です。

(1927年国宝指定、法改定により現在は国の重要文化財に指定されています。)

● 大磯駅よりバス8分「月京」下車徒歩25分  
二宮駅よりバス10分「王福寺」下車徒歩1分

## 王福寺から歩く

**鷹取神社(鷹取山)** 德川家康が平塚で鷹狩りを行なった時、家康の鷹が逃げたのをこの山頂で捕らえたことから「鷹取山」の名がつけられたと言われています。標高219m、大磯で一番高い山です。

826年に創建された鷹取神社の祭神は木花咲夜姫命で、女性が熱心にお参りすると少しづつ美人になると言われています。また湧水を司る農作物の豊作の守護神様でもあります。

●他には迎接院、観音寺、御嶽神社

## 厳島神社(東の池)

## 相模国総社六所神社



718年に現鎮座地に遷座。櫛稻田姫命が祖神。その時より一之宮寒川神社(寒川)、二之宮川勾神社(二宮)、三之宮比々多神社(伊勢原)、四之宮前鳥神社(平塚)、平塚八幡宮(平塚)の分霊を合わせ祀り、相模国総社六所神社と称されるようになりました。鎌倉時代には源頼朝より、戦国時代には小田原北条家より、江戸時代には徳川家康より篤い崇敬を受けています。

木造武装神形立像・木造女神形立像は平安時代後期の作で、県指定文化財。像高は武装神形立像75.1cm、女神形立像68.1cm。県内のご神像では最古のひとつであり、素箋鳴と御祭神櫛稻田姫命と推定されています。

●大磯駅よりバス7分  
「国府新宿」下車徒歩5分

## 六所神社から歩く

**寶積院** 寛永八年(1631)の銘がある大磯町最古の梵鐘あり。また、樹高15m、胸高周囲3.2m、直径20mの大樹冠を形成しているカヤがあります。

**蓮花院** 「福聚海」と名づけられた大磯の浜や高麗山を再現した庭、大きな亀石や蛙石があります。新相模西国三十三観音第五番靈場です。

●他には真勝寺、金龍寺、宝前院



## 島崎藤村・松本順・虎女が眠る寺

## 地福寺

「破戒」「夜明け前」等の作品で名を知られる文豪島崎藤村は晩年を大磯で過ごしました。生前、境内の梅を気にいり、また海も彼方にちらりと見え潮風も吹き通ってくるような、それでいてどこか故郷にも似ている地福寺に自身の墓地を求めました。



**妙大寺** 大磯海水浴場の開祖であり、軍医総監を務めた松本順の墓碑があります。また、第二次大戦で2万人のユダヤ人を救済した植口季一郎、作家の相良俊輔、評論家の福田恒存も眠っています。



**延台寺** 『曾我物語』に曾我十郎の恋人として登場する虎女が開いた寺です。十郎の身代わりとなった「虎御石」に触れると、安産・厄除け、大願成就にご利益があると言われています。

祭事 5月下旬日曜日 虎御石まつり

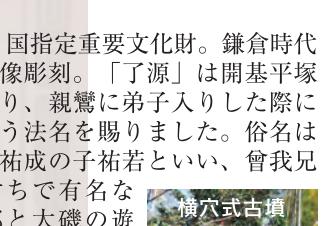
## 地福寺・妙大寺・延台寺から歩く

## 大運寺

自由党副総理を務めた中島信行、妻であり作家でもある中島俊子、歴史画を創作し日本美術院理事長を務めた安田鞍彦の墓碑があります。

●他には白岩神社、妙昌寺、東光院、楊谷寺

**妙輪寺** 江戸時代には紀州の姫や奥女士が度々参詣した病氣身代わり守護の像、日輪上人像があります。また、大磯宿商売繁盛の守護神、熊王稲荷もあります。



**善福寺** 国指定重要文化財。鎌倉時代後期の肖像彫刻。「了源」は開基平塚入道であり、親鸞に弟子入りした際に了源という法名を賜りました。俗名は曾我十郎祐成の子祐若といい、曾我兄弟の仇討ちで有名な曾我十郎と大磯の遊女・虎女(虎御前)の子供です。

境内の岩山にある横穴式古墳の遺跡で、現在8基残っています。7世紀後半~8世紀始め頃に造られたものだと推定されています。

●大磯駅より徒歩20分 またはバス4分「花水」下車徒歩2分

横穴式古墳

## 善福寺から歩く

## 高來神社

717年、僧行基によって千手觀音像を本地仏として高麗寺が創建される。明治維新の神仏分離令で高來神社と改称。高句麗からの渡来伝承を持つ。鎌倉時代には北條政子の安産祈願がなされ、江戸時代には徳川幕府により高麗山及び田地百石が寺領として与えられた。



祭事 4月中旬: 春の例大祭(山神輿の渡御)  
7月中旬: 夏の例大祭(御船祭)

大磯町観光推進室  
電話0463-61-4100  
<http://www.isotabi.com>

